

## 【小学校5～6生】 集団の中で過ごせていない？

この頃になると、かなり明確に自分の好きな事によって仲間が分かれてきます。男の子の好きなことの代表的なもの、例えば、ゲーム、サッカー、モノづくり、生き物、本などいろいろあります。これらが混ざり合っていくつかのグループに属する子もいます。

成長の度合いが個々人で差がある時期なので、できることも、知識の量も体の大きさも異なり、仲間の中で違和感を感じて「自分って何？」と悩むという子もいるようです。また、ゲームが好きな仲間が集まって楽しくしているようでも、一人でポツンと過ごすことが多かったり、誘われなければ遊べないということでは、親としては、「人間関係が不得手なのではないか？」と将来が不安になることもあるでしょう。

担任の先生以外の学校関係者に学校での様子を尋ねたり、お稽古や塾・スポーツ活動などでの子供の様子を見る機会があるとよいと思います。そのような機会を作り、家庭の外での子供の姿を客観的に見ていくことが大切です。

そして「人間関係が不得手かも」と思い当たることがあったら、今からでもよいので、親子でボードゲームをしたり、ペットの世話の役割を任せたり、祖父母と交流するなど、人とのやり取りで楽しめる機会を作ってあげてください。

相談に来る親子の中には、受験勉強を頑張っているけれど、集団の中で友達と関係を作れないと言う親子もいます。そんなときは「勉強よりも、人間関係の基礎づくりを優先しませんか？」と伝えていきます。家の中での役割を果たすようにしていくと、「家族に所属している自分」がハッキリと解って安心できます。また、遠慮せず、スクールカウンセラーや保健室の教諭に相談してみるのもあります。

執筆：認定特定非営利活動法人育て上げネット 「結」相談員 森 裕子・墓田 薫

「ニート・ひきこもりの子をもつ親の会『結』」  
(運営：認定特定非営利活動法人育て上げネット)

若者の「働く」と「働き続ける」を実現するために、若年無業者就労基礎訓練プログラム「ジョブトレ」など、多方面からの支援を行っている「認定特定非営利活動法人育て上げネット」の活動の一つで、親をサポートするための会。1か月ごとの定期相談やすぐ実施できる「接し方・伝え方」ワークショップ、親同士の気軽な茶話会などを提供している。



墓田さん

森さん